

### 13 特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

※2015 年度から採用した新しい項目です。

手術後に、手術部位感染（Surgical Site Infection：SSI）が発生すると、入院期間が延長し、入院医療費が有意に増大します。SSI を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があり、手術開始から終了後 2～3 時間まで、血中および組織中の抗菌薬濃度を適切に保つことで、SSI を予防できる可能性が高くなります。このため、手術執刀開始の 1 時間以内に、適切な抗菌薬を静注することで、SSI を予防し、入院期間の延長や医療費の増大を抑えることができると考えられています。より高い値が望ましい。

調査実施日	特定術式の手術件数	術式ごとの適切な予防抗菌薬が選択された手術件数	停止率
2020 年 01 月	37	37	100.0%
2020 年 02 月	32	32	100.0%
2020 年 03 月	46	46	100.0%
2020 年 04 月	32	32	100.0%
2020 年 05 月	29	29	100.0%
2020 年 06 月	16	16	100.0%
2020 年 07 月	31	31	100.0%
2020 年 08 月	26	26	100.0%
2020 年 09 月	24	24	100.0%
2020 年 10 月	29	29	100.0%
2020 年 11 月	29	29	100.0%
2020 年 12 月	39	39	100.0%
2021 年 01 月	34	34	100.0%
2021 年 02 月	30	30	100.0%
2021 年 03 月	29	29	100.0%
2021 年 04 月	39	39	100.0%
2021 年 05 月	29	29	100.0%
2021 年 06 月	26	26	100.0%
2021 年 07 月	19	19	100.0%
2021 年 08 月	44	44	100.0%
2021 年 09 月	28	28	100.0%
2021 年 10 月	29	29	100.0%
2021 年 11 月	28	27	96.4%
2021 年 12 月	28	28	100.0%

（参考）QI 推進事業参加病院の平均値

2017 年度 86.2%(前年比+4.1)

2018 年度 88.2%(前年比+2.0)

2019 年度 83.2%(前年比-5.0)